



.....
※本状は、ビザ・ワールドワイド・ジャパン株式会社とGMO ペイメントゲートウェイ株式会社の
共同プレスリリースです。各社より重複して配信される場合がございますが、あらかじめご了承ください。
.....

2026年3月12日

報道関係各位

ビザ・ワールドワイド・ジャパン株式会社
GMO ペイメントゲートウェイ株式会社

GMO ペイメントゲートウェイ、Visa の「クリック決済」を決済基盤に実装 ～ネットワークトークンを活用し、AI 時代の承認率最適化を支える設計高度化を推進～

ビザ・ワールドワイド・ジャパン株式会社（代表取締役社長：シータン・キトニー 以下、Visa）とGMO インターネットグループのGMO ペイメントゲートウェイ株式会社（代表取締役社長：相浦 一成 以下、GMO-PG）は、GMO-PG のオンライン総合決済サービス「PG マルチペイメントサービス」において、Visa が展開する「クリック決済（英語名：Click to Pay）」^(※1) を、2026年2月16日（月）より提供開始したことを発表します。

本取り組みは、「クリック決済」の実装により、ネットワークトークン^(※2)を活用した決済フローとの接続を実現し、承認率最適化に資する環境整備につながるものです。

EC 市場が拡大を続け、さらに AI 活用やエージェントティックコマースの進展により購買プロセスの自動化・高度化が進む中、決済基盤には安定した承認処理と拡張性が求められています。Visa と GMO-PG は、国際標準仕様に基づく「クリック決済」を基盤に、日本市場における決済ネットワークと基盤双方の高度化を連携して推進します。

(※1) Visa 「クリック決済 オンラインでのお支払いを素早く簡単に」

URL : <https://www.visa.co.jp/products/click-to-pay/consumers.html>

(※2) ネットワークトークンとは、個人のカード番号や有効期限といったカード会員の機密情報を一意のデジタル識別子（トークン）に置き換えるテクノロジーであり、加盟店側へカード番号を直接連携せず決済処理できます。



GMOペイメントゲートウェイ、 Visaの「クリック決済」を決済基盤に実装

ネットワークトークンを活用し、
AI時代の承認率最適化を支える設計高度化を推進



Click to Pay

【背景と概要】

経済産業省の「令和6年度電子商取引に関する市場調査の結果」によると、2024年の日本国内 BtoC EC 市場規模は 26.1 兆円となり、前年から拡大しています。EC 化率は 9.8% に上昇しており、オンライン取引は継続的に拡大しています^(※3)。

市場拡大に伴い、決済時の利便性と安全性の両立に加え、承認率の安定性や決済プロセス全体の最適化が求められています。入力負荷や認証工程の複雑さは購入途中離脱の要因となるほか、承認率の低下は売上機会の損失に直結します。ネットワークトークンを活用した決済構造は、安定性向上に加え、決済データの一貫性確保を通じて承認処理の安定化に寄与する基盤として重要性が高まっています。

Visa が展開する「クリック決済」は Visa Acceptance Platform の機能の一部であり、EMVCo^(※4) が策定した国際標準仕様「Secure Remote Commerce」に基づくオンライン決済の仕組みです。カード番号や有効期限などの再入力を不要とし、事前登録済みのカード情報を選択することで決済が完了するため、シームレスなチェックアウトを実現します。

(※3) 経済産業省「令和6年度電子商取引に関する市場調査の結果を取りまとめました」（2025年8月26日公表）

URL : <https://www.meti.go.jp/press/2025/08/20250826005/20250826005.html>

(※4) 国際カードブランドなどが共同で運営し、決済に関する技術仕様や標準化を推進する組織

【「PG マルチペイメントサービス」における Visa の「クリック決済」実装について】

本機能はクレジットカード決済^(※5)のオプションとして提供され、オプション費用は無償です^(※6)。現時点では「リンクタイプ Plus」の接続方式に対応しており、今後他方式での対応も予定しています。

「クリック決済」の実装により、過去利用したことのある EC サイトはもちろん、初回利用の EC サイトであっても、消費者のカード情報入力負荷を軽減し、購入離脱抑制に寄与します。また、標準仕様に基づく認証フローにより、承認処理の安定化を図ります。

GMO-PG は複数のアクワイアラと接続する PSP（決済代行会社）として、特定の接続形態に依存せず、承認制御・トークン管理・不正検知を横断的に最適化する設計を進めています。ネットワークトークンを前提とした決済データ構造は、AI を活用した不正検知や承認制御ロジックとの親和性が高く、将来的な自動化取引環境にも適応可能な設計基盤となります。年間 22 兆円超の処理金額^(※7)を有する決済基盤を担う PSP として、蓄積されたデータと培った知見を活かし、Visa との連携のもと、日本市場における承認率最適化を推進しています。承認率の安定は、事業者の売上機会最大化に直結する重要な要素です。

今後も Visa と GMO-PG は、決済体験の改善と承認率最適化を通じて、事業者の売上機会最大化に貢献してまいります。

(※5) デビットカード・プリペイドカードもご利用いただけます。

(※6) クレジットカード決済手数料は通常通り発生します。

(※7) 2025年12月末時点、連結数値

【「PG マルチペイメントサービス」について】

(URL : <https://www.gmo-pg.com/service/mulpay/>)

クレジットカード決済をはじめ、コンビニ決済や QR コード決済など 30 種以上の多様な決済手段に対応するオンライン総合決済サービスです。事業者のビジネス形態や成長フェーズに応じ、柔軟な決済基盤を提供しています。

また、OpenAPI 仕様に基づいた設計・実装を進めやすい開発方式を採用するほか、高いセキュリティや不正検知機能を備え、EC・デジタルサービス・BtoB 取引など幅広い分野のオンライン決済を支えています。あわせて、開発者が必要な情報に正確にたどり着けるよう、ドキュメントや参照環境の整備も継続的に行っています。

【Visa について】

Visa は電子決済の世界的リーダーとして、世界 200 以上の国と地域における決済取引によって消費者、事業者、金融機関や政府機関をつないでいます。Visa のミッションは、最も革新的かつ利便性や信頼性が高く安全な決済ネットワークで世界を結び、個人や企業、そして経済の繁栄に貢献することです。私たちは、世界中のすべての人にとっての包括的な経済こそが、世界中の人々の生活を向上させ、経済へのアクセスが決済の未来へつながると信じています。詳しくは、[Visa.com](https://www.visa.com)（英語サイト）または www.visa.co.jp（日本語サイト）をご覧ください。

【GMO ペイメントゲートウェイ株式会社について】

オンライン化・キャッシュレス化・DXなどを支援する決済を起点としたサービスを提供しています。年間決済処理金額は 22 兆円を超えており、オンライン総合決済サービスは EC 事業者や NHK・国税庁等の公的機関など 15 万店舗以上の加盟店に導入されています。

決済業界のリーディングカンパニーとして、オンライン総合決済サービス、対面領域での決済サービス、後払い・BNPL（Buy Now Pay Later）、金融機関・事業会社への BaaS 支援、海外の先端 FinTech 企業への戦略的投融資など、決済・金融技術で社会イノベーションを牽引し、持続可能な社会の実現と社会の進歩発展に貢献してまいります。（2025 年 12 月末時点、連結数値）

以上

【報道関係お問い合わせ先】

●ビザ・ワールドワイド・ジャパン株式会社

広報部 濱田・川邑

TEL : 03-3210-1650

Visa PR 事務局（株式会社プラチナム内）

岩崎・川崎・齋藤・荒生・針谷

TEL : 03-5572-6072

E-mail : visa_pr@vectorinc.co.jp

●GMO ペイメントゲートウェイ株式会社

企業価値創造戦略統括本部 広報部

TEL : 03-3464-0182

お問い合わせ :

<https://contact.gmo-pg.com/m?f=767>

●GMO インターネットグループ株式会社

グループ広報部 PR チーム 新野

TEL : 03-5456-2695

お問い合わせ :

<https://group.gmo/contact/press-inquiries/>

【「PG マルチペイメントサービス」に関するお問い合わせ先】

●GMO ペイメントゲートウェイ株式会社

イノベーション・パートナーズ本部

TEL : 03-3464-2323

お問い合わせ :

<https://contact.gmo-pg.com/m?f=790>

【GMO ペイメントゲートウェイ株式会社】（URL：<https://www.gmo-pg.com/>）

会 社 名	GMO ペイメントゲートウェイ株式会社（東証プライム市場 証券コード：3769）
所 在 地	東京都渋谷区道玄坂1丁目2番3号 渋谷フクラス
代 表 者	代表取締役社長 相浦 一成
事 業 内 容	■総合的な決済関連サービス及び金融関連サービス
資 本 金	133 億 23 百万円

【GMO インターネットグループ株式会社】（URL：<https://group.gmo/>）

会 社 名	GMO インターネットグループ株式会社（東証プライム市場 証券コード：9449）
所 在 地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代 表 者	代表取締役グループ代表 熊谷 正寿
事 業 内 容	持株会社（グループ経営機能） ■グループの事業内容 インターネットインフラ事業 インターネットセキュリティ事業 インターネット広告・メディア事業 インターネット金融事業 暗号資産事業
資 本 金	50 億円

Copyright ©2026 Visa. All rights reserved.

Copyright (C) 2026 GMO Payment Gateway, Inc. All Rights Reserved.